

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成22年7月9日 第38号
浜田市農林業支援センター

新センター長 着任のごあいさつ

梅雨前線が九州から四国へと横たわり、湿度の高い日々が続き、雑草もその草丈を活発に伸ばし続けています。この時期、畦畔などの草刈に尽力されていることと存じますが、農作業での事故や怪我のないことを祈っています。

さて、4月以降、浜田市農林課長が当支援センター長を兼務しておりましたが、7月1日付けで専任センター長として着任いたしました。

よりきめ細やかな支援を行い、農家の方々に役立つよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

浜田市農林業支援センター長 みうら かずしげ
三浦 和成



今年11月に開催される「全国農業担い手サミット in しまね」のノボリを持つ三浦センター長（左）と森井主事

1. お世話になりました - 職員の異動のお知らせ -

集落営農組織の支援を担当していた**森井主事**が、浜田市農林課農政係に異動となりました。

同じ農林関係の部署ですので、これからも皆さんにお目にかかる機会があると思います。「いろいろとお世話になり、ありがとうございました。市役所で見かけた時には気軽に声を掛けてください」とのことです。

2. 「有機農業技術等波及講座【水稻編】」のご案内



昨年度の講座の様子

昨年度に引き続き、**(株)ジャパンバイオファームの小祝政明 代表取締役**を講師に招き、「有機農業技術等波及講座」が開催されます。
(主催：島根有機農業協会)

初回は「実践圃場の生育確認、良質・良食味米栽培のポイント」について学びます。どうぞご参加ください。

日 時：7月19日(月・祝)

午前9時30分～午後3時30分

会 場：弥栄会館(浜田市弥栄町)

受講料：無料(弁当を注文される方は実費が必要です)

申込先：島根有機農業協会(0855-75-0017)

【申込締切...7月13日(火)】

3. 「センチピードグラス【種子吹き付け】研修会」を開催します

当支援センターでは、畦畔の草刈に係る負担軽減を目的に、愛媛県西条市の(有)だるま製紙所の協力を得て、**センチピードグラスの種子を畦畔に直接吹き付ける技術**による実証圃を佐野町に設置しています。

同社の渡森社長を講師に招き、研修会を開催しますので、参加を希望される方は当支援センターまでご連絡ください。

日 時：8月10日(火) 午後1時30分～3時

会 場：浜田市佐野町 佐野上集会所、実証圃

参加料：無料

【申込締切...8月6日(金)】



4. 各支援チームからの話題

新規就農支援チーム (担当: ^{まえばら}前原・^{やまもと}山本)

農大の就農ガイダンスに参加しました

6月15日、大田市にある島根県立農業大学校(以下、農大)で開催された「就農ガイダンス」に参加し、浜田市出身者2名を含む8名の学生の皆さんに、当支援センターの取組や就農相談の流れについて説明させていただきました。

その後の意見交換では、「将来の就農に向けてどのような準備が必要か」という質問が出るなど、新たな農業担い手として活躍したいという熱意が感じられました。

なお、農大では、農業研修に興味のある方を対象としたオープンキャンパス(学校見学会)を計画されています。日程は以下のとおりです。お問い合わせや参加申込みは直接農大(0854-85-7011)までお願いします。

オープンキャンパス: 7月21日(水)・28日(水)・8月4日(水)

[いずれの日も午前10時~午後3時30分 各実施日の7日前までに申込みが必要です]



認定農業者支援チーム (担当: ^{まつい}松井・^{まえばら}前原)

やさかファーム阿郷の里 ^{あごう} ^{さと}

平成16年に農業に参入し、現在は弥栄町に1.2haのブルーベリー園を抱える認定農業者 阿郷建設(有)のこだわりは、自然に囲まれた場所で、化学肥料や農薬を使わずに栽培していることです。エコファーマーとして生産した安全で美味しい生果と、ジャムやドライフルーツをはじめとする加工品は、JR浜田駅の1階にある「市民サロン」などで販売されています。

今年は7月下旬から観光農園「やさかファーム阿郷の里」がオープン。社長の阿郷一日さんは「新鮮なブルーベリーの摘み取りを楽しんでもらいたい」と話しておられます。(予約が必要です 23-5339)

この度ホームページを開設され、7月末には三隅町の認定農業者 佐々木克晴さんらとともにJA きんさい市場黒川店でブルーベリーの試食・販売イベントも開催される予定です。丹精込めて育てたブルーベリーの美味しさが多くの方に伝わることを願っています。【ホームページ <http://www.ago-sato.com/>】



集落営農組織支援チーム (担当: ^{かまはら}鎌原・^{やまもと}山本)

産直向け野菜栽培について



6月17日に、地域貢献度の高い活動としての産直向け野菜栽培の更なる波及を目指し「集落営農法人 現地研修・情報交換会」を開催しました。

当日は、5つの集落営農法人から19名の生産者が参加し、現地研修としてそれぞれの組織の圃場を互いに視察し、交流を深めました。

現地研修後は、椅子を丸く並べ、各組織の現状報告と課題解決に向けた意見交換を行いました。「野菜栽培は組織として大きな利益が



出るものではないが、集落内で楽しみながら取り組むことができるのでこれからも継続していきたい」という力強い意見もありました。

今後は、作業の分担方法や収益性の高い品目を提案できるよう、栽培導入実証圃を設けて検証していくことを計画しています。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp